

福祉実践教室報告 要約筆記

耳が聞こえない人とコミュニケーションをとる方法は、手話や身振り、空書、筆談などがあり、その中でも私たちは要約筆記を教えていただきました。要約筆記とは、話している内容を要約し、文字として伝えることです。要約筆記をするときに大切なこととして「速く、正しく、読みやすく」伝えることということがわかりました。

また、読みやすくするときには大きな字やきれいな字で書いて読み続けても疲れにくいようにすることがこつだとわかりました。

耳マークは1975年に名古屋市が「耳のシンボルマーク」として制定しました。耳のシンボルマークは、ローソンや銀行、病院などにあります。聴覚障害者がそれを指すことによって私たちが口元を見せてゆっくりはっきり話したり、筆談をしたりなどの配慮をすることができます。

私たちは福祉体験教室で要約筆記を行って、すべての人が過ごしやすい環境を作っていくことが大切だと改めて実感しました。

